

2026.2.9
第10号生活支援コーディネーター
～耳より情報局～高齢者
生活支援体制
整備事業

地域型生活支援コーディネーター（地域型SC）の坂上と夏目です！

吹田市で生活支援体制整備事業が始まり、今年で10年を迎えました。広域型生活支援コーディネーター（広域型SC）に加え、令和5年度からは地域型SCが2名配置され、より身近なエリアで生活支援体制整備をすすめています。地域住民や地域のために汗をかきたい関係機関、医療や福祉、ボランティアに関心のある学生さんなどが集まって話をできるテーブルをコーディネートしてきました。

その結果、高齢者だけでなく障がいのある方や子育て中の親子、学生なども取り組みに参加するなど、多世代交流の機会が増えてきています！

地域の課題は日々変化しています。課題の解決には多様な団体との連携が必要不可欠です。今一度、地域の課題や現状について考える機会を、みなさんと考えていけるといいなと思っています😊 地域での取り組みを一部紹介します。

坂上



夏目



♥ 山二・東山田地区

「地域のチカラになりたいけど、何に困っているのだろう」
「買い物に困ってるのは、荷物が持てないの？ 移動手段？」
そんな参加者の声があって住民にアンケートを取ることに！



♥ 千里新田地区



街中にある休憩ポイントなどを示すマップを作成！このマップをさらに活用できるような企画をメンバーで検討しています。

千新うきうきウォーキングマップ

♥ 山一地区【YOP】

認知症支援のとりくみ！



みまもりあいアプリを活用し、山田の歴史ある寺社を巡るスタンプラリーを実施。学生や高齢者など幅広い世代が参加しました！小学校でも同様の企画を実施予定です！



♥ 五月が丘地区【五月が丘よりそい隊】

気分は大学生！バスツアーin大阪大学
学生や高齢者、障がい福祉事業所、専門職、先生まで！
大学生気分でした！



♥ 豊一地区【つながりの会】



専門職が中心となり盛り上げている検討会！もちろん地区も参画しています。歩こう会や介護フェア、地区福祉委員会の昼食会で啓発活動など行いました。

イベントをする際は、「企画者（助ける側）」「参加者（助けられる側）」という分け方ではなく、みんなが何か役割を持ちながら参加できるよう意識しました。



♥ 片山地区地域検討会

PICK UP

地区福祉委員会や民生児童委員会、高齢クラブ、自治会、体育振興会など地域団体の他、地域包括支援センターや大学生、社協などが参画しています。参画団体のみなさんが日頃見聞きしている「高齢者の困りごと」を支える仕組みについて、検討しています。

「坂道が多く買い物に困っている」というニーズに対して…



「スマホの操作が不慣れな高齢者が多い」というニーズに対して…

お買い物サポートマップ



購入した商品を自宅まで配達してくれるスーパーの情報をリスト化★
地元情報に詳しい民生委員や地域包括支援センターの協力を得て、スーパーの情報を集めました。
買い物から配送までネットで完結する仕組みもありますが、「自分でスーパーへ行き、手に取って選びたい」というお声もあり、このようなマップが完成しました。マップは地区福祉委員や民生委員、高齢クラブの協力を得て地域の高齢者に配布しています。

スマホ講座



参画団体である大阪大学の学生を中心に、地域包括支援センターの呼びかけで参加いただいた介護保険事業所職員がスタッフとして協力し、スマホ講座を開催！
学生は日常生活でスマホを使用することが多く、操作はお手の物！！
得意なことや出来ることを活かして、高齢者の困りごとに寄り添っていただきました。参加された高齢者は、スマホの操作だけでなく、スタッフとの交流も楽しまれていました。



参加者や住民の声を丁寧に聞き取り、活動につなげました。今後は地域住民の声を拾うためのニーズ調査を行うなど、参画団体と協議の機会の充実を図ります。

それぞれの会議は連動しています

地域検討会

すいたの
年輪ネット

地域ケア会議

生活支援コーディネーター ～耳より情報局～

編集・発行：社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会 電話 (06) 6339-1254 FAX (06) 6170-5800

吹田市高齢者生活支援整備事業 事務局：吹田市福祉部高齢福祉室支援グループ 電話 (06) 6384-1375